

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第1回所沢市文化芸術推進会議
開 催 日 時	令和元年5月15日(水) 午前10時00分から午前11時45分まで
開 催 場 所	所沢市役所高層棟6階602会議室
出席者の氏名	宍戸 健司 正 嘉昭 嶋本 桃子 石田 尚子 成沢 富雄 竹田 香子 岩田 輝子 大久保 玲子 中村 治雄
欠席者の氏名	富井 大裕
説明員の職・氏名	なし
議 題	(1) 平成30年度事業報告について (2) 令和元年度事業について (3) 所沢市文化芸術振興ビジョン基本方針Ⅲ(文化をつむぐ)について (4) 次回(2年間の集約)に向けて (5) その他
会 議 資 料	・次第 ・資料1-1 平成30年度事業報告 ・資料1-2 平成30年度第2回庁内連絡会議のまとめ ・資料2 市民文化センター(MUSE)H30事業報告 ・資料3 令和元年度 事業スケジュール(文化芸術振興課)
担 当 部 課 名	事務局 市民部 部長 川上 一人 文化芸術振興課 課長 吉田 謙治 主査 堤 健太郎 主任 溝越 弘倫 市民部 文化芸術振興課 電話 04-2998-9211

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 委員改選の報告 ■ 会議成立の報告 ■ 会長あいさつ ■ 会議公開の確認 ■ 配布資料の確認 <p>2 議事</p> <p>宍戸会長が議長となり、進行</p> <p>(1) 平成30年度事業報告について</p> <p>(2) 令和元年度事業について</p> <p>本日は今年度最初の会議なので、まず議事(1)(2)について事務局より説明いただき、その後本日のメインである議事(3)に入らせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、議事(1)及び(2)について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●資料1-1、1-2に基づき、平成30年度に当課及び他課が実施した文化芸術関連事業について報告。 ●資料2に基づき、平成30年度に市民文化センター（MUSE）が実施した事業について報告。
会長	<p>ただいまの説明について、何か不明な点などはありませんか。</p> <p>無いようであれば、次の議事に移らせていただきます。</p> <p>(3) 所沢市文化芸術振興ビジョン基本方針Ⅲ（文化をつむぐ）について</p>
会長	<p>それでは、次に議事(3)「所沢市文化芸術振興ビジョン基本方針Ⅲ（文化をつむぐ）」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●ビジョン基本方針Ⅲ（文化をつむぐ）について説明。（P36、51） <p>基本方針Ⅲについては、「文化をつむぐ」ということで、いかにして所沢に文化を生み出していくか、あるいは一人、一団体に活動するのではなく、他業種、他分野とのコラボレーションや、世代の違いで何かを生み出したり、行政と民間企業、行政と教育機関といった形で連携、協力しながら生み出す可能性についても、今後進めていくべきと考えております。</p> <p>この基本方針Ⅲの内容については、三つに分けて表記しています。</p> <p>一つ目は「人と文化をつむぐ」として、異文化交流や異業種交流、文化</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>団体交流などです。市内には、19ジャンルの文化活動を行う連盟があり、それぞれの連盟が半年以上にわたり、市内の施設を使って発表・展示をしております。また、「総合フェスティバル」と銘打ち、オープニングを飾るイベントを行うのですが、そこでは全く違うジャンル同士がコラボレーションするステージを毎年行っております。このように、市がすでに行っているものも含め、新たな手法の組み合わせの検討は、本日のテーマの一つになっております。</p> <p>二つ目は「産官学の架け橋」です。こちらにつきましては、なにより(株)KADOKAWAとの連携です。市内の柳瀬地区東所沢に「ところざわサクラタウン」という形で(株)KADOKAWAが進出し、現在、建設が進んでおります。ここでの文化に関するコラボレーション等については、非常に楽しみであり色々な可能性があると考えております。また、キャンパスは移転しましたが、日本大学芸術学部、あるいは埼玉県立芸術総合高校、早稲田大学、秋草学園短期大学などの教育機関も市内にありますので、そういったところとも連携を模索していきたいと考えています。そして、最後に「外」との連携として、小平市にあります武蔵野美術大学と3月に官学連携の協定を結びました。今年度から動き出そうとしていますが、武蔵野の文化圏として共通する部分もありますし、あるいは小平市に無いものが所沢市にはあるとも言っているため、新たな可能性を秘めた協定が結べたのではないかと思います。このような「産学官の架け橋」ということでの視点での課題もあります。</p> <p>最後に三つ目として「みどりがつなぐ野外文化」ですが、所沢の市民と自然、所沢の文化と自然ということです。本市には、航空公園や狭山丘陵を代表とするみどりや自然という恵まれた環境があります。そういった自然の中で文化的なことを生み出していけるのではないかとこのことを本日の議論のテーマとしていただければと思っております。</p> <p>例えば、航空公園ではすでに多くの市民の方が様々な活動を行っていき、淵の森では宮崎駿監督が中心となって下草刈りが行われており、その一環としてコンサートを開催するなど一つの文化が生まれております。また、三ヶ島のひまわり畑のコンサートや、くぬぎ山の雑木林の中でのコンサートなどがすでに行われています。</p> <p>説明は以上となりますが、本日は文化を形作る・生み出すためにはどのような可能性があるのか、どのような組み合わせが考えられるのかについて、所沢の風土に着目しながらご議論いただければと思っております。</p> <p>ただいまの説明に対するご質問やご意見をお願いします。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>ミュージアムが休館中で足を運ぶことはなくなりましたが、まちづくりセンター等でのアウトリーチ事業は盛況な印象を受けました。</p> <p>以前の会議でもラノベが話題に上がりましたが、今の10代はプロペ通りのブックオフに集まっていて、おもしろいと感じています。</p> <p>10代と他の世代がどう関わっていけるかというのはこれからの話ですが。</p>
委員	<p>本日の話題とは少しずれますが、著作権についても考えなければいけないと思います。ネット上のものはタダだと思われる気がします。</p>
委員	<p>私は音楽に関するボランティアをしている中で、感じていることが二つあります。</p> <p>一つは、若い人にも高齢の人にも世代を超えて楽しんでもらいたいと思っていますが、演奏者には若い人もいる一方、聴きに来られる方はお年寄りばかりです。スタッフも高齢化してきて、若い人を取り込みたいと思い、小中学校等に声掛けして数年間実施してきましたが、うまくいかない。赤ちゃんも参加可能とすると、若いお母さん・お父さんが来てくれますが、一回きり。そこからクラシックが好きになってくれたら良いのですが、上手くない。興味の無い人を振り向かせるのは難しいと感じています。</p> <p>もう一つは発信の方法です。今はネット社会ですが、ネットは受動的なので興味のある人には届きますが、興味の無い人には届かない。裾野を広げたいと思っていますが、興味の無い人を振り向かせる方法に苦慮しています。また、資料を見ると様々なことを所沢市・埼玉県は実施されていますが、私自身知らないものが多くありました。ネット社会とはいえ、紙ベースで見ている人もいるので、発信の方法を工夫すべきだと思います。</p>
委員	<p>中心市街地での「タワーまつり」は、ここ10年でダンスが増えてきました。ダンス教室も多くなってきており、幼児から高校生くらいまでの人達が楽しんでいます。そういったところの観客は若いお母さん・お父さんが多い印象を受けます。</p> <p>私もボランティアで舞台スタッフを行っていますが、高齢化については感じています。</p> <p>また、今後のイベント情報は様々な媒体で発信されていますが、結果については発信されておらず、やりっぱなしの感じがします。そのジャンルの魅力を伝えていかなければ、たこつぼ化する気がします。</p>
委員	<p>私にとって所沢というのは生まれ住んでいる所で、活動する場ではありません。活動する場は新宿、池袋、渋谷などであり、所沢はあくまでも疲れて帰ってきて寝るところで、そういう方も大勢いると思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>市内には、活動しようとしても、活動する場がありません。異文化をつなぐための起点となる拠点が市内には無い。映画館でもミニシアターが一つや二つあれば、様々な人が集まってくると思います。</p> <p>そして、自治体は抑え込むのではなく、活躍できるようにインフラ整備をするのが一番の仕事だと思います。自治体が主催してイベントを開催するのではなく、イベントを開催したい人のサポートを行うことが重要だと思います。また、自治体同士がつながるため、積極的に交流すべきです。</p> <p>異ジャンルがつながることと同時に、世代間がつながることも重要です。次代に継承していかないと、文化の過疎化が起きてしまうのではないかと危惧しています。</p> <p>最後に、茨城の大洗はアニメの聖地となっていますが、所沢も㈱KADOKAWAの進出で少しでも変わったら嬉しく思います。</p>
委員	<p>アニメについては、㈱KADOKAWAは強い部分もあるので、色々と企画してみたいと思います。</p>
委員	<p>これまでのご意見を伺って、たこつぼ化していくことや、興味の無い人が振り向かない点、世代間交流が図られない点、観客が関係者のみなどの問題は、所沢の顔となる文化が出来上がってないからではないかと感じます。何でもあるから何にも無いように感じてしまう。そしてそれは、受け手ではなく、発信側が感じていることだと思います。</p> <p>所沢の顔を決めるにあたっては、ディレクターが方向付けしていくべきです。ビジョンを作る際にリサーチは終わっているのでも、結果を検証し、所沢の顔をどのようなものにするのかといった議論が必要だと思います。例えば、野外文化は時代のニーズにマッチしていると思うので、そこに演劇やアート、音楽を紐づけたりすることが考えられます。</p> <p>また、ビジョンの中にあるアンケートについて、数字は出ていますが、内容について検証されているのでしょうか。私がここから読み取れることはいくつかあります。まず、自分の子どもには文化に親しんでほしいと思っている親世代が多いということ。そして、本市の文化の特徴として「ミュージズ」のほかに、「みどり」を挙げている人が多いということです。このような点が所沢の顔を決める際のキーワードとなるのではないのでしょうか。</p> <p>一方、発信の仕方も課題だと思います。現状は、それぞれの媒体でそれぞれのイベント等の情報を流しており、体系的にわからないので、「こことここをはしごして行ってみよう」といった計画ができないのが難点だと思います。バラバラに発信するのではなく、発信源の顔が見える形で一つにまとめることが必要だと考えます。</p> <p>その上で、私が提案したいのが、ラジオ媒体です。ラジオ媒体というの</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>は音声で情報が発信されているので、おじいちゃん・おばあちゃんがコミュニティ施設で自然と耳に入るような環境を作りさえすれば、重要な情報発信の顔になるのではないかと考えています。</p> <p>評価をする受け皿が無いというのは、所沢で行われている文化芸術活動が体系的に見えないのと同じ線上にある問題だと思います。この問題に関しては、例えばラジオを活用し、有識者に出演していただいて、所沢のユニークさを第三者的視点で語るトークセッションのような番組を作ることもできます。つまり、他者の目を言葉にして伝えるようなプラットフォームを作るのが重要だと思います。</p> <p>また、ミュージズは音楽には強いですが、美術に関しては弱い印象を受けます。世代や異文化をつなぐためにもディレクターが必要だと思います。</p>
委員	<p>市内には高校もいくつかあるので、高校生の発信力を活用すれば、市内に限らず、市外への発信にもつながるのではないのでしょうか。また、イベントのボランティアや裏方などでも活かせるのではないかと考えています。</p> <p>加えて、子どもが大きくなったときに活動する場が市内にあると良いと感じます。</p>
委員	<p>そもそも、世代間交流が必要な理由とは何でしょうか。</p>
委員	<p>それは、上の世代が必要としているからではないのでしょうか。60代、70代がボランティア活動をしていても、あと10年、20年は続くわけがない。活動を手渡していきたいと思う時に、若い人達が入ってくれないというのは多くの団体が抱える問題だと思います。</p>
委員	<p>活動を継続させるために世代間交流を行うのでは、着眼点が違うと思います。そのコンテンツがいかに魅力的で、人生に喜びを与えるものか訴求していかないと若い人は来ないのではないのでしょうか。それが伝わって初めて世代間交流の意味があると思います。</p>
委員	<p>上の世代の方々は、様々な機会をくださいますが、下の世代が受け取っているのかと疑問に思うことがあります。若い人達は上の世代からコツや技を伝承的に教わることが多いので、そういったつながりは大事にしたいはずですが、上の世代から一方的に世代間交流をしましょうと言われてもどうしたら良いのかと。</p>
委員	<p>世代間交流の必要性は二つあると思います。</p> <p>一つは、次代の表現者・創造者と次代の鑑賞客を生み出すことです。それが上手くいっていないということは日本における芸術教育の問題だと</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>思っています。音楽や美術は教科に組み込まれていて、それをきっかけに音楽や美術を好きになる子もいるけれど、実は嫌いな子もあわせて生み出している現状がある気がします。さらには、演劇に関しては、教科にすら組み込まれていない。</p> <p>もう一つは、文化芸術を通して新しいコミュニティが生まれる点です。文化芸術を媒介として、学校や職場などの既存のコミュニティとは違う場で、新たな絆やふれあいが生まれてくるということです。</p> <p>文化と芸術は混同できないものだと思っています。文化は継続的なものだとしても、芸術は相手に提供するときに偶発性があるほしいものなのです。</p>
委員	<p>立場の違いもあると思います。年長者は時間もあって、地域のことなどにも積極的に取り組みますが、若い人は限られた時間の中で、やりたいことは他にもあって、そのギャップをどうつなぐかという問題が一つ。</p> <p>また、文化や芸術と一括りにすると、ぼやけてしまいます。「音楽の会」や「現代アートの会」のように細分化した方が若い人は入りやすいのではないかと思います。</p> <p>㈱KADOKAWAが今やろうとしているのは、美術界や音楽界、文芸界などを全部取っ払って、何が一番おもしろいのかということです。最後は評価・総括が必要だとは思いますが、取っ掛かりは好きな事を伸ばしていければ良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>「評価」という言葉に関して、点数制のような学校の評価ではなく、お互いが生き生きしてくるような言葉が望ましいですね。</p> <p>以前、高校生の吹奏楽発表会で、野球部の生徒が本番を見に来ると、リハーサル時の音より良くなって、非常に面白いと感じました。世代間交流とは違いますが、現場で起きていることを伝えていきたいという思いもあります。先ほど委員がおっしゃられたラジオについては、そういったことを話題にした座談会を開いても良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>高校生や大学生がMCになっても良いと思います。ある種の「だべり」のようなものがあると、自分軸で生きているが、ラジオを通して全体が繋がって見える気がします。</p> <p>「つむぐ」という意味においては、各分野から人を集めて市内で行われている活動をまとめて、横の連携でコラボするなど、ディレクターを設けてある程度体系的に動かすべきではないのでしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>分野ではなく、場所の分科会も良いと思います。カルチャーパークやミュージズ、サクラタウンなどの分科会などがあり、それぞれの場所の活用方法を検討していくといったものも考えられます。</p>
委員	<p>所沢独自の形の芸術文化を生み出していくとすれば、例えば、郊外型文化芸術都市という位置づけで、プロが活動できる場所を作っていく。あるいは、アマチュアの芸術活動をしている人達の力を借りて、美術や音楽など今ある学校の授業とは違った形のものを作ってもらったり、その場にいる人でシアターゲームを仕掛けるなど、人と人との新たな出会いと交流を生み出すようなことができると思います。</p> <p>いずれにしても、実際に進めていく上では市に担当部局を置いて、職員と我々が具体的なチームを作り、年間の活動計画を立案した上で、計画を推進していくという取り組みが次の段階なのではないでしょうか。</p>
会長	<p>素晴らしいご意見ありがとうございました。</p> <p>問題が明確になってきたような気はしました。私が思うには、芸術文化に対して市の予算を使っただけかということだと思います。本当に好きであれば、同好会のような形で全額というわけではなくても一部は出しますという人達がいるのではないのでしょうか。そういうことに結び付けられるようになれば良いのかなという気はいたしました。</p>
	<p>(4) 次回（2年間の集約）に向けて</p>
会長	<p>時間もございますので、次に議事(4)について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回会議が今期の最終回となる予定ですが、本会議は市からの「諮問」を受けて設置したものではないため、会議からの「答申」はありません。</p> <p>しかしながら、これまで計4回の会議にてご議論いただいております。事務局としましては、ご意見のエッセンスやご指摘いただいた課題等について、何かしらの形で残していきたいと考えています。</p> <p>次回会議にてその原案をお示しできればと考えており、本日の会議では、その取扱いについてご議論いただければと思います。</p> <p>事務局では現在、ご意見を取りまとめてビジョンを補完するものとして、必要に応じて添付していくようなイメージです。</p> <p>ボリューム感といたしましては、A4で1～2枚程度を想定しています。</p> <p>次回会議までにお時間もあることから、本日のご意見をもとに事務局にて素案を作成し、秋ごろにメール等にてご意見を伺わせていただく予定です。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>す。</p> <p>ただいまの説明について、ご意見や質問はありますか。 無いようでしたら、次の議事に移らせていただきます。</p>
	<p>(5) その他</p>
会長	<p>それでは、次に議事(5)「その他」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>●次回日程について説明。</p>
会長	<p>このことについて、ご意見等が無いようであれば、以上で議事を終了させていただきます。</p> <p>進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局より事務連絡を申し上げます。</p> <p>●「音まちコンサートVol. 1 2」及び「わたしのイタリア ベストショット写真展 作品募集」について説明。</p>
	<p>4 閉会</p>
事務局	<p>本日は、ご多忙のところご出席いただき、貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございました。</p> <p>次回の開催は少し先になりますが、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>